

マスク装着による顔の魅力向上・低下効果を検証

～COVID-19 流行前後での見た目の変化を発見～

ポイント

- ・マスクの装着有無による顔の見た目の魅力を実証的に検証。
- ・装着によって、もともとの顔の魅力が高い人は魅力が低下し、低い人は向上することが判明。
- ・COVID-19 流行前のマスク装着は魅力を一様に低下させたが、流行後は向上させる場合も生じた。

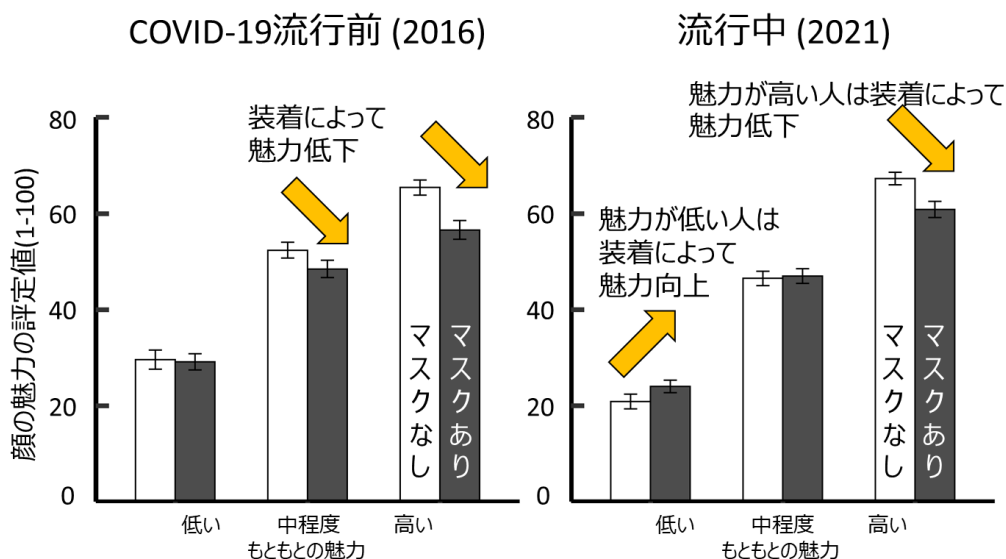
概要

北海道大学大学院文学研究院の河原純一郎教授らの研究グループは、福山大学の宮崎由樹准教授と共同で、マスクの装着が魅力に及ぼす効果を検証しました。

マスクの色(白または黒)と、もともとの顔の魅力がマスク装着によって魅力に及ぼす効果を測定した結果、もともとの魅力が高い人がマスクを装着すると見た目の魅力は低下し、逆にもともとの魅力が低い人は魅力が向上して見えることがわかりました。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行前である 2016 年に測定したデータでは、一様にマスク装着によって魅力が低下していたことと比べると、今回の COVID-19 流行によって、もともとの魅力に応じて、着用後の魅力に違いが発生しました。

もともとの魅力に応じてマスク装着の効果が異なるのは次の原因が考えられます。左右のバランスがとれている、肌の状態が良いなどの、もともと魅力的な特徴がマスクで隠されると、その人の魅力は下がります。一方で、左右のアンバランスや肌の傷やニキビなどが隠されることで、魅力が上がると考えられます。これに加えて、COVID-19 流行前はマスクをしていること自体に不健康な印象があったためマスク装着は全体的に魅力を下げていましたが、この度の流行でそうした全体効果は消失したことがわかりました。

なお、本研究成果は 2021 年 6 月 27 日 (日) 公開の *i-Perception* 誌にオンライン掲載されました。



【背景】

研究グループはマスク装着が顔の魅力評価に及ぼす影響を COVID-19 流行前に測定し、全体的な魅力低下を明らかにしていました。この度の COVID-19 の流行によってマスク装着が一般化したことによる印象の変化を知るために本研究に取り組みました。

【研究手法】

白または黒色のマスクを付けた 20～30 歳代の顔画像(女性 66 名)をコンピュータ画面上に 1 枚ずつ呈示し、18 歳以上の男女合計 59 名の評定者が画像 1 枚ごとに感じる外見的魅力や健康さを 1 から 100 の範囲で評定しました。

【研究成果】

評価者の性別に関わらず、もともとの魅力(マスクなしで事前測定)が高い場合は、マスクを装着することで魅力は低く評定されました。一方、もともとの魅力が低い場合は、マスクを装着することで魅力が高く評定されました。これは黒色マスクでも同様の結果でした。

また、マスク着用無しの顔はマスク顔よりも健康的だと評価されました。

論文情報

論文名	Effects of masks worn to protect against COVID-19 on the perception of facial attractiveness(COVID-19 対策にマスクを着用することが顔の見かけの魅力に及ぼす効果)
著者名	鎌谷美希 ¹ , 伊藤資浩 ² , 宮崎由樹 ³ , 河原純一郎 ¹ (¹ 北海道大学, ² 東京大学, ³ 福山大学)
雑誌名	i-Perception (知覚心理学の専門誌)
DOI	10.1177/20416695211027920
公表日	2021 年 6 月 27 日 (日) (オンライン公開)

お問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究院 教授 河原純一郎 (かわはらじゅんいちろう)

T E L 011-706-4154 メール jkawa@let.hokudai.ac.jp

U R L <https://cogpsy.let.hokudai.ac.jp/~f209/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp